

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年6月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>GUSH COMICS エリートモデルは発情したい 令和4年5月20日発行</p>	<p>男性2人の純情な恋愛作品。人格否定などの問題のある要素はないが、性交シーンが多く、性器の修整がやや甘い点に鑑み、指定該当やむなし。</p> <p>人格否定も、暴力描写もなく、好き同士の二人の愛情を、性描写を通じて描いている。青春そのものといった世界観だが、性器の描写が露骨、かつ後半に向かうに従い過激になる。指定該当やむなし。</p> <p>人格否定的な性描写や不法行為が描かれているわけではないが、性器の修整が甘く、形状や様態がはっきり見えるものが多い。指定該当。</p> <p>恋愛物語であるがセックスまでの話が早い。強制的なシーンはなく人格否定もあまり感じない。しかし性交時の描写が激しく、性器は白線で修整されているが形状が分かる。擬音・体液描写も激しい。指定該当。</p> <p>二人のラブストーリーで、暴力的、人格否定的な面はないが擬音・体液描写が多く、特に性器の消し方が甘く、正面から大きく描かれている所も多くあり強調している様に見える。指定該当。</p> <p>性器の描写については、5～6本の白帯で隠すことによって、形状を分かりにくくしているが、おびただしい数と種類の擬音を重ね体液と目に見えない熱気を効果的に足すことで臨場感のある性行為を展開している。人格否定もなく、性表現ばかりではない恋愛漫画を描こうとしている印象もあるため、保留。</p> <p>BLアンソロジーコミック。画力もストーリー展開もしっかりしていてSとM的な性癖要素をクローズアップしているが、相思相愛のため恋人モードの範囲内。性器の消し方にも一定の配慮がくみ取れるので、青年レベルと判断し、指定非該当。</p> <p>性器修整は白帯数枚。白抜きだとかえって形が分かるため、一定の配慮を感じる。性描写は形式的なもので性シーンは多いがそれほど卑わい感を感じられない。画角についてはやや厳しいところもあり、大変悩ましいが、指定非該当。</p> <p>性交場面は必ずしも全編大部分とは言えずその描写も人格を否定する性的行為を容易に連想させるとは言い難い。性器の消しも甘いなりに配慮があり、総合的に判断し指定非該当。</p> <p>強制的・暴力的な描写は全く無く、人格否定的なものも感じられない。ストーリーもあり性描写は比較的少なく性器については露骨さも感じられず修整されている。指定非該当。</p> <p>ストーリーは純愛的なもので人格否定なども見受けられず問題はないと考える。局部の画が多いが、性器の消しも許容範囲と考える。指定非該当。</p> <p>男同士の恋愛マンガ。全体通して性交シーンは多いもののコミカルな部分や人格否定要素もなく許容範囲。男性器の修整も輪郭カットして配慮がうかがえる。指定非該当。</p> <p>人格否定はない。体液、擬音描写について気になるもののそこまでの卑わい感はない。性器修整が甘い点の判断が論点だが、施行規則の基準に該当する可能性は高いものの、青少年の健全な育成を阻害するおそれがあるとはいえない。指定非該当。</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年6月8日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>Charles Comics No.211 トロける快感ソク 堕ち悪魔</p> <p>令和4年6月15日発行</p>	<p>人間と悪魔、あるいは山の神、狼男等々のマッチングで様々な恋愛を描く作品集。性器は白く消され、ストーリーに残虐性等犯罪的なモノは見られないが、性交シーンが多すぎる。指定該当。</p> <p>BLアンソロジー漫画。人間と擬人化された性行為を中心とした展開なので、卑わい感を強く感じる。男性器の消し方が形状の分かる場面の多さや、ドアップの構成など青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>性器の消しはしっかりしており、白帯も組み合わせている。画角等の配慮もされているが、強調されている場合も散見される。人格否定等ないが後半の性シーンが多め。性シーンの多さに鑑みて指定該当。</p> <p>短編集ゆえに、性行為までの展開が早い。擬音、体液描写も激しく指定該当やむなし。</p> <p>悪魔や狼人間といった「人間ではないもの」との性描写が多い。擬音、体液描写が多く、性器は白抜きになっているものの、一部形状が判別できるものがある。指定該当。</p> <p>性器描写については、白抜きにしており、配慮を感じるものの、その白抜きのままの結合シーンを多用し、やや多めの体液によって独特な性表現を展開している。性描写の分量も多いため、成人向き。指定該当。</p> <p>人間と悪魔の性物語短編集。強制的・暴力的な描写はない。しかしセックス描写が多く、開脚時の描写も多い。性器も白抜きで書かれているが形状が分かり、誇張されている。擬音・体液描写も多い。青少年には不向き。指定該当。</p> <p>ファンタジー的でコメディな所があり、絵が綺麗である。性器は白抜きにされているがまわりのトーンや線で分かる様に描かれている。擬音や体液も多く描かれている。特に性器の部分では逆に卑わい感を感じる。指定該当。</p> <p>性器は白抜きで修整しようという一定の配慮は受け取れるが挿入描写は公然わいせつと取られてもよいレベルと考える。指定該当。</p> <p>人格否定はない。但し、体液、擬音描写について、露骨で卑わい感がある。指定該当。</p> <p>ファンタジー色の強いBL作品で、人間関係はコミカルに展開されている。人格否定もない。性交・扇情シーンにおいて大変表現力を持った作家さんであり、コミカルな展開からのギャップで、それらのシーンが際立っている。性器修整はしていねいにされているが、後半部分のスペシャルコラムや描き下ろしの部分も含めると保留。</p> <p>全体的に性描写が多くストーリー性は感じられないが、たまにコミカルな描写があり、それほど卑わい感を感じられない。ただ性器の消しが白いフォルムで分かりやすく、結合部のアップや、コラムが気になる。保留。</p> <p>性交場面も人格を否定する性的行為を容易に連想させるとは言えず、性器修整にも配慮が見られる。指定非該当。</p> <p>ファンタジーもの。性器の修整は白で抜かれており、結合部も大きく白抜きされていて配慮されている。一部拘束シーンがあるものの、人格否定的な事もなく、コミカルなシーンもあり。指定非該当。</p>